

議会

No.268



自然劇場

議会に対するご意見
をお聞かせください。

電話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

年頭のごあいさつ



木島平村議会議長

勝山 正



明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健康で、希望に満ちた輝かしい初春を迎えられましたことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃から議会活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私も18期議員は、一昨年4月の改選から、まもなく任期中間の時期を迎えようとしています。

村民の皆様への負託と信頼に応えるべく、議会に与えられた使命を達成できるよう、一丸となり日々精進し全力で尽くしてまいり所存であります。

昨年は、年明けに能登半島を震源地とする地震による甚大な被害が発生し、復旧・復興に取り組んでいるさなか、9月には豪雨災害にみまわれ、二重の被害は大きな衝撃を与えました。早期の復旧・復興を願わずにはられません。

さて、年々、暑さが厳しくなる中、昨年の夏は猛暑と少雨により、農作物の生育と品質への影響が懸念されました。

その中で、昨年12月に山梨県北杜市ほくとで行われました「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、本村から出品された木島平米が最高峰部門の「国際総合部門」で金賞、また「環境王国部門」では特別優秀賞を受賞しました。

木島平米のブランド化に取り組んでいただいている農家の皆様のご努力に敬意を表すとともに、さらなる発展をご期待申し上げます。


迎えました本年は、村づくりの指標となる第7次総合振興計画のスタートの年にあたります。

少子化対策をはじめ、将来にわたって暮らしやすい持続可能な村づくりの推進等、重点プロジェクトが掲げられております。

また、本年は村制施行70周年、調布市姉妹都市盟約40周年を迎えます。

節目にあたり、議会といたしましても気持ち新たに住みよい村づくりのために全力で取り組んでまいります。

結びに、新たな年が、木島平村、そして皆様方にとりまして、ご健勝で実り多き佳き年となりますようご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



令和6年12月第4回定例会

リフト券補助拡充、給食食材費などを審議

11月29日から12月12日まで

今議会に村から提案された〔承認案1件、予算案8件、条例案4件、同意案1件〕は、すべて承認・可決・同意しました。また、陳情6件を審査しました。賛否の分かれた議案は24ページに記載しています。



補正予算

令和6年度一般会計補正予算（第4号）5,743万円増額（総額40億6,536万円）の補正予算を全会一致で可決しました。主な補正予算を抜粋してお知らせします。（千円以下を四捨五入）

- 総務課**
 - ・パソコン（更新20台）等備品購入費 307万円
 - ・人事院勧告（※1）に伴う人件費増額見込み分 1,723万円（※1 26ページに説明あり）
 - ・介護保険特別会計への繰出金 275万円
- 民生課**
 - ・障害者自立支援事業 1,477万円（国・県費含む）
 - ・福祉医療費 228万円（県費含む）
- 産業課**
 - ・新型コロナ予防接種に係る委託料 1,180万円（その他財源含む）
 - ・有害鳥獣対策事業費 109万円
 - ・木島平ブランド確立事業 13万円
- 産業企画室**
 - ・空き家活用等補助金 65万円
- 教育委員会**
 - ・給食食材費高騰分補てん 300万円
 - ・村民リフト券購入補助費 440万円

【令和6年度～7年度債務負担行為（予算執行は令和7年度）】※2

- 建設課** デマンド交通運行業務委託1,800万円
 - シャトル便運行委託1,500万円
- ※2債務負担行為とは…翌年度以降にも金銭的負担が生じる場合に、その内容や限度額をあらかじめ予算書に定めておくこと。



条例改正

- 防災会議条例の一部改正
 - 構成員に「地方指定行政機関の職員」「村長が必要と認める者」を追加する他、「定数の変更（25人以内）」と「任期を削除」する改正。
- 税条例の一部改正
 - 軽自動車税の減免の対象に「生活保護受給者」「天災その他特別な事情により減免が必要な者」が所有する軽自動車を追加する改正。

「令和6年12月定例会の審査意見」

【予算決算常任委員会】

意見1 一般会計補正予算の債務負担行為で、デマンド交通・シャトル便の運行委託費が倍増している。交通弱者が増える中、交通手段の確保は必要な施策であり、将来にわたり交通手段を維持できるよう、早急に様々な方法を検討されたい。

同意

●固定資産評価審査委員会委員の選任

氏名：竹原雄一さん（北鴨） 任期：令和6年12月18日から3年間

◆◆◆議会改革特別委員会を設置しました◆◆◆

議員定数10人のところ、現在の議員数は9人で、昭和30年に木島平村が発足して以来、初めて欠員となっています。ほかにも議会としての課題は様々ありますが、議員のなり手不足解消や議会、選挙に関心を持っていただけるよう活動していくため、特別委員会を設置しました。

■委員長 関 達夫 ■副委員長 湯本直木 ■委員 丸山邦久、江田宏子、山崎栄喜

みなさんからの請願・陳情

受理番号	件名	審査結果	対応・理由等
陳情第3号 ※9月継続審査	母（王 ^{おうかいげん} 菰彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望	継続審査	外交問題もあり、結論が出ないため。
陳情第6号 ※9月継続審査	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書	継続審査	陳情の趣旨は理解できるが、現段階では資格確認書で対応可能。今後の政府の対応を見てから判断が必要。
陳情第7号	刑事訴訟法の改正によるえん罪被害者の速やかな救済を求める意見書提出についての陳情書	採 択	衆・参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣あてに意見書を提出。
陳情第8号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	採 択	衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あてに意見書を提出。
陳情第9号	福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情	採 択	内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣あてに意見書を提出。
陳情第10号	再審法改正を求める意見書の採択に関する陳情	採 択	衆・参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣あてに意見書を提出。

《賛否の分かれた議案の結果》

議 案	議 員 名								採 決 結 果
	関 達夫	湯本直木	湯本行浩	山本隆樹	山 浦 登	丸山邦久	江田宏子	山崎栄喜	
陳情第6号 「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書	○	○	○	○	×	○	○	○	継続審査

■表の説明：○賛成（起立）、×反対（議長は議決に参加しないため、議員名から外してあります）

反対

陳情第6号 総務民生文教常任委員長報告「継続審査」に対する討論

山浦 登

資格確認書はプッシュ型（申請なし）で発行するとしているが、法令上申請主義のままであることから、寝たきりや認知症、障がいを持つ方などが手続きできない等懸念され、トラブルが相次いでいる。任意であるマイナンバーカードの取得と国民皆保険制度を結びつけることに無理がある。よって、現行の健康保険証を廃止することなく存続を求める本陳情の採択を求め、委員長報告に反対する。

「令和6年9月定例会の審査意見」に対する村の対応

委員会審査の結果で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。(要旨抜粋)

【総務民生文教常任委員会】

意見1 第7次総合振興計画について、村づくりへの意識醸成につながるよう、今後、村民の皆さんとの意見交換や意見聴取の機会を設けるなど、広く周知を図られたい。

対応1 現在策定を進めている「第3期木島平村まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」と併せ、実施計画や令和7年度予算も含め今後周知していく。引き続き村民の皆様のご提案やご意見を行政に反映できるよう取り組んでいく。

【予算決算常任委員会】(令和5年度決算について)

意見1 総合グラウンド、弓道場等、未利用施設については、維持管理費がかかることから、今後のあり方を早急に検討されたい。

対応1 弓道場はコロナ禍から未利用となっていたが、主な利用団体が今後も利用を予定しており、引き続き維持管理していきたい。総合グラウンドは当面は必要な維持管理を行うが、跡地利用を含め今後の在り方を更に検討する。

意見2 中学生のルクセンブルク交流事業については、公平性や村の財政負担の面からもあり方を検討されたい。

対応2 往来交流は、20年以上が経過した中で、今後の交流方法について「再考」する。また「教育の平等」の観点からも、すべての子ども達が体験できる体験学習、交流事業の実現に向けて検討をしていく。

意見3 公用車の導入にあたっては、購入とリースのメリット・デメリット等をしっかり検討し、対応されたい。

対応3 公用車の導入にあたっては、今後経済性や維持管理の観点からメリット・デメリットを検討し対応していく。

9月定例会以降の議会活動

第19回長野県地方自治政策課題研修会(11月12日) 県庁・YouTube配信

県議会(研修会実行委員会)主催で、山口大学大学院創生科学研究科(准教授)・総務省消防庁消防大学校(客員教授)の瀧本浩一氏を講師に「地域の防災・減災力の底上げ」などをテーマにお話しいただき、「自身を守る防災対策(家具転倒防止など)」や「あらゆる可能性を想定した『実践的な訓練』」などの必要性を力説された。

また、災害に対する意識改革や啓発、地域のつながりを確認できる訓練で好評な事例として、住民が集まるイベントや事業などに合わせての訓練(炊き出し・避難所体験など)の取組みが紹介された。



県知事あいさつ

百合居橋架替工事現場視察(11月18日) 栄村(箕作~月岡)

北信建設事務所管内の議員による現場視察が行われた。

この地域は、令和元年の東日本台風(19号)で、越水による家屋の浸水など甚大な被害を受けたため、現在、越水による被害や、浸食を防止し、沿川住民の生命、財産を守るための築堤や橋梁の架け替えなど、県による事業が進められている。百合居橋は、栄村内の千曲川右岸側地域と左岸側の地域を結ぶ重要な橋であり、「送り出し工法」による橋の架け替え現場を見せていただいた。

今回の視察を通して、大規模なインフラ工事が多くの人々の協力と技術によって支えられているかを改めて実感した。現場の方々の努力と技術に感謝し、無事に工事が完了することを心から願う。



現場の様子

議会全員協議会

【村からの提出案件】

11月21日

- ・協議事項
- (1) 財政計画・実施計画について
- (2) 人事院勧告※に伴う条例改正等の対応について

※人事院勧告とは

民間企業と国家公務員の給与格差をなくすために法律で定められている制度で、人事院が内閣・国会に向けて「国家公務員の処遇改善の勧告」を行うもの。市町村は、人事院勧告に伴う国や都道府県の動向等を踏まえ、方針を決定する。

【議員間協議】

9月25日

- (1) 議会一般質問 一問一答について

10月21日

- (1) 議会一般質問 一問一答について
- (2) 木島平村議会課題解決研究会

11月21日

- (1) 議会一般質問 一問一答について
- (2) 令和7年姉妹都市盟約40周年
調布市・木島平村議会交流事業について

11月29日

- (1) 先例集・申し合わせ事項・一問一答の内規
一部改正について
- (2) 令和7年度国内視察研修について

一般質問を一問一答方式で決定！！

より深く議論し、分かりやすくするため、令和5年12月定例会から試行と協議を重ねてきましたが、9月議会を経て、12月議会から完全実施することとなりました。

- ・質問のみで45分の時間制限
- ・質問の最初から一問一答（質問回数に制限なし）
- ・村の答弁は自席で行う

経過と詳細は、議会だより10月号の6ページ目（右QRコード）をご覧ください。



各議員の一般質問の項目

12月4日・5日に7人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月（2月号）の議会だよりに掲載します。

第1日目（12月4日）

1 山本 隆樹

- ①村内が進められている県工事の状況について
- ②リカレント教育の推進について

2 丸山 邦久

- ①高齢者の一人暮らし世帯の見守りにについて
- ②木島平村の主体性について

3 山崎 栄喜

- ①第7次総合振興計画実施計画について
- ②財政計画について
- ③創業支援について

4 江田 宏子

- ①身寄りがない方等の支援策について
- ②調布市等での村のPR戦略について
- ③総合戦略について

第2日目（12月5日）

1 関 達夫

- ①温暖化対策を実践強化しよう
- ②村内事業者支援はいかに
- ③少子化の現実と子供たちの学校はどうなる

2 山浦 登

- ①投票所再編後の投票率について
- ②学校給食費無償化について
- ③今シーズンのスキー場運営について
- ④道の駅ファームスについて
- ⑤マイナ保険証一本化と保険証廃止について
- ⑥防災対策について

3 湯本 行浩

- ①木島平村の少子化問題について
- ②農業振興と地域資源の活用

次回定例会の開催予定

【3月議会定例会】※現時点での予定です。

- 開会日 2月28日(金)
- 一般質問① 3月6日(木)
- 一般質問② 3月7日(金)
- 閉会日 3月18日(火)

請願・陳情の受付締切日

2月12日(水)午後5時
議会事務局へ直接お持ちいただき、事務局員に説明をお願いします。

定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。
次の場所・方法で閲覧できます。
・役場2階の議会事務局での閲覧(平日午前8:30~午後5:15)
・村公式ウェブサイトに掲載

木島平村で検索して、次のように進んでください。

公式ウェブサイト(トップページ下段)の [木島平村議会](#) → [会議録](#)

※12月定例会会議録は、現在作成中のため次回定例会までに掲載予定です。



スマートフォン・タブレットからは、QRコードの読み取りでご覧いただけます。

議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。
傍聴席は、役場2階 議場後方が入口です。
また、本会議は、ふう太ネットで生放送および再放送をしています。
開会日と閉会日の再放送は、当日の午後7時からです。一般質問の再放送は、ふう太ネット番組表または音声放送等でご確認ください。



ON AIR

議会だより編集委員

委員長	江田宏子
副委員長	山本隆樹
委員	山浦登夫
	関達夫
	湯本直木
	湯本行浩



ちょっと
いっぷく

編集後記

「心に残る
冬の思い出」

私の田舎は北信濃。

小学校の低学年の頃、前夜が雪になって道がなくなるほど雪は積もります。でも翌日学校へ行く時には、必ず道がついていました。そうです。各家庭の割り充てられた区間、雪踏みをして道をつくってくれていたのです。どこかの家が忘れていたり、寝坊しますと、その区間は道ができなくなります。そんなことはありませんでした。朝起きて一面雪の中、細い道が何本もできている。私の心に残る風景なのです。当時、山本40歳、勤めていた会社の社内報への投稿記事から。

村の生活は、共同体(コミュニティ)、ボランティア(ネットワーク)の精神の時代だったと改めて感じています。

蛇年の私、運氣のアップサイン：神が脱いだ洋服：昨年家の石垣で見つけました。共有しましょうね。たかき

